

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービスE-NE CREATE小机		2026年3月15日					
	チェック項目	はい	いいえ	不明	工夫している点	課題や改善すべき点・その他	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2		集団活動の充実にはもっと広さは欲しい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		曜日やメンバーにより工夫が必要 祝日は外出支援も多いため人員がより多くいると安心 「あと一人いれば」と感じる時もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			活動ごとに部屋分けをしたり、メンバーを部屋分けして工夫している	部屋の広さやドアの幅を考えるとバリアフリーは難しい 現状必要な児童がいない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			二部屋に分かれて活動できる	毎日の清掃業務で綺麗に保たれている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4		個別の部屋はないがフロア内で落ち着けるよう環境設定を工夫している	スペースに限りがあり、難しい おもちゃや個人情報の掲示などがあり完全に何もなしの部屋を設けるのは難しい クールダウンできるほどの「個」の部屋は用意できていない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				活動ごとに一人ひとりの目標は設定していないが各活動の振り返りはしている 児童の参加状況により直前の決定もあるが、計画、実行、評価、改善（共有）できている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			把握はできているが十分に業務改善に繋がっていない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			意見、相談しやすい環境になっている 月1回の店舗ミーティング、週1回の常勤ミーティングで実施	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	1		第三者の選定が難しい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		研修の実施を増やす方向で調整中	より充実させたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			いつでも見られるようになっている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			児発管が積極的に行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		ミーティングにて支援計画の共有を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			定期的なミーティングや支援計画更新のタイミングでの共有で認識を統一できている	活動内容により計画が疎かになってしまっていることもある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			個別支援計画に基づいた個別日誌の記入と記入されたものを読んでいる	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				移行支援まではできていない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			活動ごとに担当を割り振っていて、担当より計画の共有がある	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			様々なプログラムを月間で組んで工夫されている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			ミーティングにて活動予定表作成後に共有している	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			必ずミーティングを行い送迎や児童に関する共有がある	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4		事業所のLINEグループの活用 一部メンバーで行うこともある 必ずの打ち合わせはできないが、気づきの共有等はされている	退勤時間の差により難しい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				業務量が多く後日になることも
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			児発管が実施し報告している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1			「4つの基本活動」とはなにか？
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			おやつバイキングで選ぶ機会を取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		2	担当者が出席し情報共有している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		2	担当者が対応している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			常に迅速な対応を心掛けている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	1		保護者様より療育、児発、園の記録の提出があれば共有するが、確実に頂いているわけではない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	2		まだ卒業生がいいため不明 今後該当者が出てきたら行く
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	1		保護者を介して個別に機会のある児童もいる
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		定期的な交流はないが公園で地域の子どもたちとスタッフが介入して一緒に遊ぶことがある はるみやホームさんとの交流	少ないと思う
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		2	案内があれば必ず参加するようにしている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎時の引継ぎ、必要があれば電話、定期的な面談などでできている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	2		送迎時や面談で話すことはあるが改まった機会は設けられていない
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		1	見学時・契約時に説明、また不明な点は気軽にお問い合わせいただくようアナウンスしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				良く行っている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	1		できていない 複数店舗で同じように開催できるかで足踏みしている状態
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		1	ご相談に関してはスタッフ間でも共有し丁寧に対応している	苦情があったことをあまり聞いたことがないためわからない

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			Instagramやお便りでの発信を定期的に行っている	店舗ごとのお便り配布があると良い	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			スタッフルームでの個人情報管理、施設などで対策している 取り扱いの意識などスタッフ間で共有している		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			送迎時のフードバックで行っている		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		近隣の消防署見学、その他福祉施設への訪問等		
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			担当者を決め、社内ミーティングで実施	
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			定期的に様々な避難訓練を行っている	
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			ご契約時に服薬について、与薬指示書が必要か、発作時の様子や必要な対応を伺っている ミーティングにて共有あり	
		49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	1	クッキングの際は改めてアレルギーのある児童の確認、 食べてはいけないもの、食べられるようになったものなど確認	医師の指示所がある児童がいない
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		ミーティングで共有している		
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		2	災害時の対応はご契約時にマニュアルとして保護者に配布している		
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			毎月ミーティングで報告している	報告はあるものの、必要な対策が確実に実行され再発防止に努められていない部分もある	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			2店舗合同で定期的に行っている			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		1	児発管を中心に担当者で検討している			